

生ごみはリサイクルへ



生ごみは燃やさない！
 生ごみは資源です とてもよい堆肥になってあなたの手元に！

生ごみリサイクルのメリット

①燃やすごみが軽くなる



②ごみステーションのカラス対策



③台所が清潔に



④生ごみが減ると焼却負荷・コスト軽減



生ごみリサイクルの方式

参加世帯数(R2年11月末現在)
1,603 世帯



× フラスコ、フタ、コーヒーマシン、フィルム、油は不可

食べ残し、野菜、くだもの類、肉や魚の骨、卵の殻、カニやエビの殻、揚げ物などが出せる

水切りをできるだけし、かき取る

密閉式なので臭いはしません

空気を出し、こぼしはりにする

生ごみに関係するトラブルを防ぐ方法

ごみ散乱

カラス被害対策の3つのコツ！

① 生ごみを減らす！

- ・食材は上手に使い切り、なるべく食べ残しをしない。
- ・生ごみ処理機器やコンポストを利用する。

② ごみ出しルールを守る！

- ・収集日前日から出さないようにする。

③ カラス除けネットを正しく使う！

- ・ごみ袋をネットで全て覆う。
隙間があるとそこから入られてしまいます。



Point カラスの目当ては生ごみです

燃やすごみの3～4割を占める生ごみは焼却することなく、堆肥としてリサイクルする「生ごみリサイクル事業」に参加しましょう。

臭いトラブル

生ごみ水切りテクニック

濡らさない

生ごみは水気を含むと腐りやすくなるので、三角コーナーで水切りを行い、水に濡れないようにしましょう。



乾燥させる

天日で茶殻や野菜くずを乾燥させれば、水分が蒸発します。乾燥させた茶殻などは水分吸収・消臭の効果があります。



しっかり絞る

もともと水分を含んでいるものや、ぬれてしまったものは、袋に入れる前に、手で絞りましょう。



Point 生ごみリサイクル事業の参加者の中では、上記の水切りテクニックを活用するほか、臭い対策として、コーヒーやおがくず等を利用しています。おがくずは水分調整もできるため、生ごみリサイクルセンターで無料配布しています。

生ごみリサイクル事業の申し込み方法はこちら↓

生ごみを分別することは環境に優しく、地球温暖化防止にもつながります！
参加したい、興味のある方はお気軽に下記までご連絡ください。
下諏訪町住民環境課生活環境係 Tel 27-1111(内線141)

